

東京大学都市デザイン(西村・北沢・窪田)研究室
工学部都市工学科/工学系研究科都市工学専攻
<http://ud.t.u-tokyo.ac.jp/index-j.html>

編集長 : 菊地原徹郎
編集委員 : 中島和也 藤井高広
阿部正隆 櫻庭敬子 鈴木亮平 山下航司



タイ・チュラ大×デザ研、プロジェクトを熱く語り合う!

ータイの学生26人と交流ー

Chulalongkorn Univ. × UD Lab.,
have a good discussion about the project.

text_sakuraba

2010年1月26日、都市デザイン研究室OGでチュラーロンコーン大学准教授のニラモン先生とOBで講師のポンサン先生、おふたりが率いる学部4年生26人とのランチタイム交流会が開催されました。ポンサン先生に、日本滞在記(交流編、まち歩き編)を書いていただきました。

On 26th January, We have a discussion and enhance friendship with 26 students from Chulalongkorn Univ (Department of Urban and Regional Planning), led by Associate Professor Niramom(OG of UD Lab.) and teacher Pornsan(OB).



▲チュラーロンコーン大学×都市デザイン研究室

交流編

現状と課題、地元と連動した活動の重要性

チュラーロンコーン大学 ポンサンさん

The present situation and problems, the importance of regional partnership

Urban Architecture専攻のChulalongkorn大学の学部4年生を26人連れて、研究室OGであり同僚でもあるニラモンと共に東京大学を訪問しました。研究室会議の合間を縫って昼休みの1時間を利用し、都市デザイン研究室との交流会を開いて頂きました。

あいにく14号館の部屋に全く空きがなく、2号館の教室を代用しましたが、日本側から、鞆、高山、佐原プロジェクトを紹介して頂き、タイ側からは学生が自主参加しているKudeechinプロジェクト、そしてBangnoiサマーキャンプの紹介を行いました。短い時間でしたが内容の詰まった発表ばかりで、両国のまちづくりの現状と課題、それから大学院生や大学生による地元と連動した活動が確認され、相互理解にとても役立ちました。



▲チュラ大、学生の発表風景

まち歩き編 都心エリア、伝建など12地区の事例を見学 Go on a field trip at 12 area in the suburbs of Tokyo



▲佐原町並み案内の様子

今回の東京訪問は5年制学部カリキュラムの重要な行事でした。4年生は学習してきたことを自分の目で確かめ、タイにおいてこれから起きるであろう都市再開発やまちづくりの事例を見学して、それらの事例に関わってきた人達から話を聞き、次年度の卒業設計等に活かしていくことでしょう。

一週間滞在の見学先としては、西新宿の副都心、秋葉原・丸の内・六本木の再開発地区、京島・太子堂の防災まちづくり地区、お台場・横浜のウォーターフロント開発地区、東雲のハウジングプロジェクト、浅草・谷根千の江戸情緒の残る地区等があり、帰りの足でデザ研が関わる佐原の重伝建地区を訪れました。

交流を通して まちづくりの種 Seed of Machidukuri

D1 ナッタボン

当日の交流会では日タイ双方のプロジェクト発表が行われ、互いに新鮮な意見交換ができたと思われま。日タイ両者のプロジェクトはプロセスや目標像に共通点が多く見られました。そして国は違えど、共通した課題を有していたのです。それはニラモン先生とポンサン先生が都市デザイン研究室の卒業生だということもありますが、より良い都市空間を目指す者同士が考え抜いたまちづくりの結果だと思われま。今後も日タイ両者の活躍の新たな展開が期待されま。

2.12 研究室が生まれ変わる

—研究室大掃除始動!—

On 12th February, our lab room will change! -Clean the whole room-

年度末ということで、研究室の2月12日に大掃除を行い、15日に書棚の耐震補強工事を行うことになりました。
We will clean our lab room and make the bookshelves strong against earthquake. It will improve the environment for study.

決意表明

来る2月12日、都市デザイン研究室9階906号室の大掃除を行います。棚一杯に積まれた資料が地震などの災害に対して危険との注意を受けましたので、資料の整理を行うと同時に、棚の耐震補強を行います。

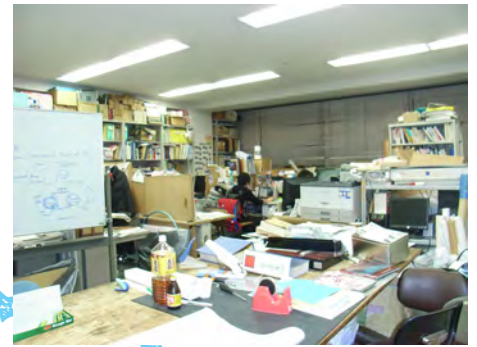
都市デザイン研究室の長い歴史の中で守られてきた「知の蓄積」を整理し、より強固なものとし、美化係として、定期的な資料の整理を行い、来年度中にすべての資料の所在を把握し、リスト化したいと考えています。

来年度には、「Urban Design Library」が完成する予定です。都市デザイン研究室の「知の蓄積」を、好きな時に簡単に閲覧することができる。そんな環境を作り、研究に励みたいと思います。また、今年のMIは0君を筆頭に、ものを大事にする人が多いのか、机にものが溢れている状況です。ものを大事にしつつも、捨てられるものは捨てる。これをモットーに、MI一同、気を引き締めて快適な研究環境を作っていきます。みなさん、生まれ変わった研究室にぜひ遊びにきてください!

from美化係

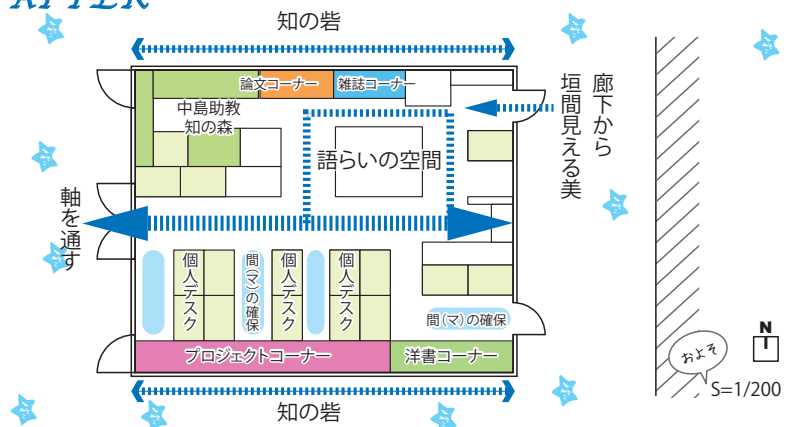
BEFORE

耕作放棄地のように、書類で生い茂る研究室



▲研究室の現状

AFTER



Don't miss it!

2010年冬学期ジュリー

—D1、D2、D3、M1、15人奮闘!—

Jury presentation of 2010 winter semester -15 members made presentations-

2月5日、8日、冬学期ジュリーが行われました。先生方から頂いたアドバイスを今後の研究に十分に生かしましょう。

On 5th and 8th February, Jury presentation of 2010 winter semester was held.

Let's use the advice by teachers to the full.

♥ 研究室会議発表者一覧 All Presenters

日程	発表者	題目
2/5 FRI	D3 鄭 一止	エコミュージアムを基点とするエリアマネジメントに関する研究 ～地域主体による運営システムとその組織の実態を中心に～
	D2 南 知賢	産業遺産の連携的活用を通じた変換戦略に関する研究 Conversion strategy as the Integration of Industrial Heritages with local resources - Focusing on Incheon, Yokohama, Shanghai
	D1 パンノイ ナッタポン	歴史的保全地区を活用した市街地再生 ～観光まちづくりに着目して～
2/8 MON	D1 傅 舒蘭	庭園から都市景観へのアプローチに関する研究
	D1 松井 大輔	我が国における町並み保存運動の展開とその継承に関する研究
	M1 阿部 正隆	戦前における地方計画論の普及に関する研究
	M1 大熊 瑞樹	グリッド都市の都市デザインについて
	M1 神原 康介	高齢者の地域居住の現状
	M1 熊谷 俊一	大規模商業施設を中心とした地域貢献活動に関する研究
	M1 黒川 佑人	駅周辺商業施設の構造の変遷が周辺地区に与える影響に関する研究
	M1 櫻庭 敬子	都市近郊移民集住地区における都市空間のあり方に関する研究 ～埼玉県川口市の多文化共生への取り組みをケーススタディとして～
M1 鈴木 亮平	都市の記憶を共有する空間に関する研究 ～戦災都市の復元に着目して～	
M1 永野 真義	空間の密度分布やランドマーク性について注目した団地建替手法	
M1 山下 航司	富士見坂における眺望景観の変遷に関する研究	
M1 Li Fan	A study on the succession of urban commercial area within the inner city of Beijing since Ming Dynasty -from the stance of "urban context" and "hierarchy"-	

都市デザイン研究室 情報欄

おしらせ アーバンデザイナー 北沢猛氏の軌跡

北沢先生を偲び、業績を思う会を行います。

日時:2010年3月14日(日)13:30-16:55

場所:東京大学本郷キャンパス・工学部11号館1階講堂
主催:北沢先生の業績を思う会実行委員会

2月の予定

- 2月12日 「神田駅誕生と町並みの変遷」
18:00開場 18:30開演
ハーモニーホール4階会議室
(千代田区内神田1-16-9 内神田サニービル)
- 2月12日 研究室大掃除
- 2月15日 研究室書棚耐震補強工事
- 2月20日 モノづくりのまち大田ウォーク
集合時刻:午前9時
集合場所:大田区産業プラザ[P10]1階エントランス

編集後記

text_sakuraba

本日、M2の修論発表が無事終わりました。緊張の糸の張っていた研究室に、柔らかな風が吹いたように感じた一日でした。M2のみなさま、おつかれさまでした!!まさに、有終の美ですね。M1たちも、ジュリーを終え、これからプロジェクトのまとめの時期に入ります。来年、先輩たちのように、達成感をいっぱい味わうためにも、日々を大切に送っていきたいものです。桜の季節が待ち遠しい、そんな気持ちです。